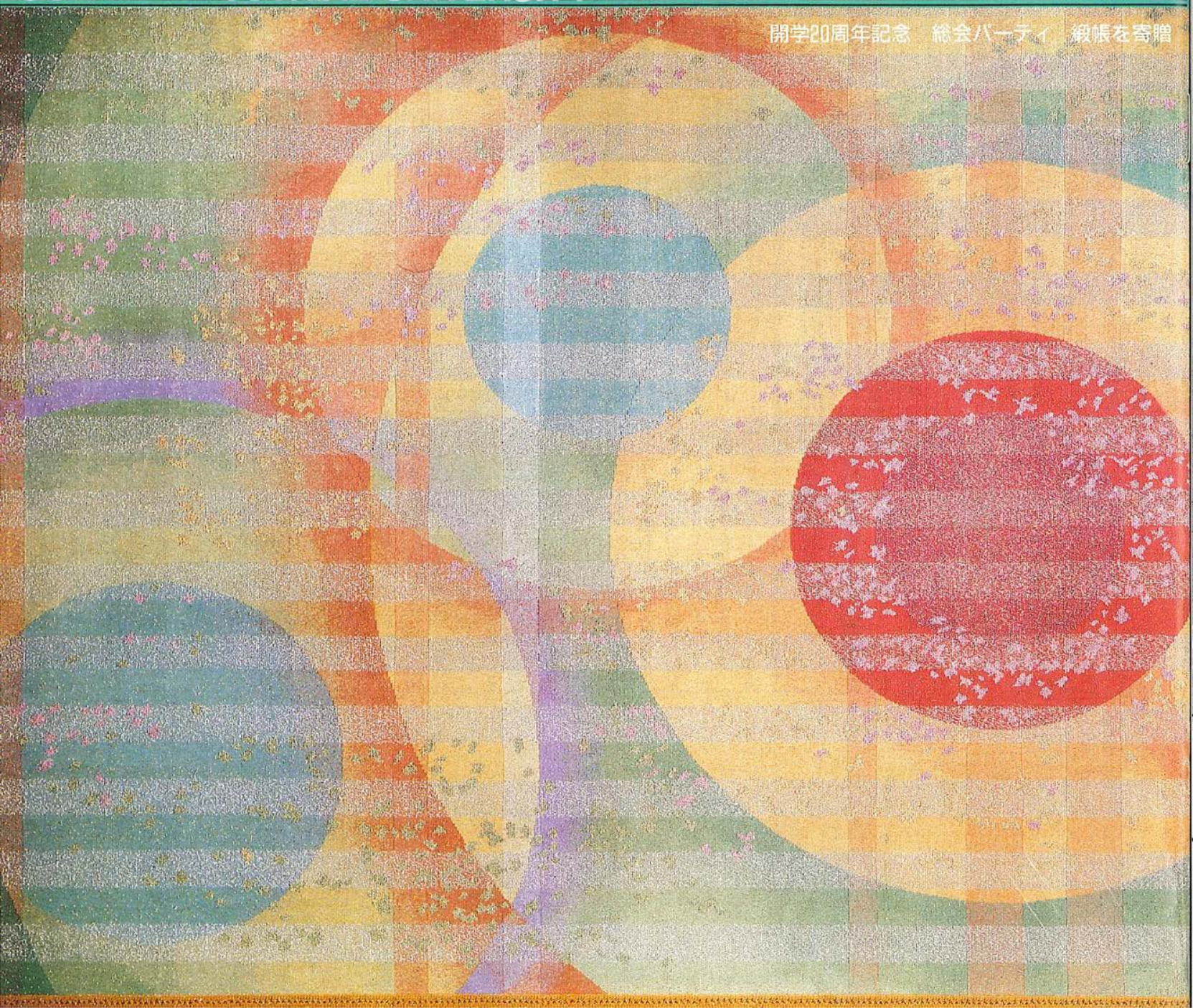
昭和61年10月10日
第31号

大阪産業大学校友会報

発行所　大阪産業大学校友会
〒574 大東市中垣内3-1-1
電話(0720)75-3001(内線2830)
(0720)75-3040(直通)

OSAKA INDUSTRIAL UNIVERSITY

開学20周年記念　総会パーティ　緞帳を寄贈



支部のページ

広島県支部結成総会開催

去る7月13日(日)、広島市「ホテルニューヒロデン」に於いて、広島県支部結成発起人会が開かれ、代表の市田義臣氏はじめ4名と、本部から竹田代議員、峠常任幹事が出席して、結成に向けての打合せ等を行い、次の通り結成総会を開催する運びとなりました。

広島県支部結成総会

とき 昭和61年10月5日(日) 午前11時より

ところ 広島ガーデンパレス

支部結成発起人

代表 市田 義臣（40年・交短運 43年・経営）
重見 定（47年・経営）
斉木 享（48年・交機）
乗田 卓弥（51年・土木）
宇治木 修（47年・短自）
玉浦 洋明（52年・経営）
作田 孝之（52年・土木）

新潟県支部の総会

昭和61年7月13日(日)、新潟市内において総会(支部旗披露)が盛大に開催された。会場の市内、イタリア軒別館には、近藤支部長をはじめ、かんろくのつけた連中が続々と参集した。学園より古谷常務理事が出席され、校友会より真田副会長、清野常任幹事が出席した。会議も順調に進み、支部の顧問に清野氏が就任された。宴会も楽しく、大学時代の思出の話しがつきなかった。世界をまたにかけて商売をしたいと、夢を語るOB達の勇将に宴もにぎわった。ただ現在、新潟出身の学生が少ないのは、さびしそうであった。(毎年、1～2名程度である)もっと受験生にPR活動をして下さいとの注文も強かった。このバイタリティーは日本海からの寒風がきたえたのか。熱気ムンムンの中を、新潟を後にする。

(文責 真田)

大阪北河内支部

大阪北河内支部(三浦政治支部長)の第4回総会が八月三十一日(日)、守口プリンスホテル(守口市)に於て、午後一時より開催されました。

当日は、地元守口市にお住いの学園本部理事長西島伊武先生を来賓にお迎えして、会員・招待者を含めて二十五名が参加されました。

年に一度の支部総会に集った会員諸氏は、恒例の福引・カラオケ・自己紹介などもりだくさんの趣向に杯も進み、西島理事長の音頭で、万歳三唱をもって午後三時半お開きとなりました。

尚、支部顧問に西島理事長に就任していただくことが、今総会で決議され、西島理事長もこれを快諾されました。

第三回奈良県支部総会開催される

全役員再任・新たな発展誓う

昭和六十一年六月八日午前十時半より「奈良ロイヤルホテル」にて開催された。

今回、総会に来賓として大西副理事長、多久和、仲上、岩本各先生方、そして校友会本部より林校友会本部顧問(奈良県支部会員)、三浦北河内支部長がそれぞれ出席され、祝電も多数披露された。

会は、花崎支部長の開会の辞の後、経過報告、会計報告がなされ承認された。

次に役員改選に入り全員が再任され、今後の奈良県支部の充実、発展を期待された。

次に懇親会に移り、参加会員のユーモラスな自己紹介、そして、全員参加のクイズ、校友会員の身近な問題が出題され、各会員とも各解答に一喜一憂し、なごやかに終了した。

奈良県支部の今後なお一層の充実、発展を期待します。

新役員は以下の通り

支部長 花崎博美
副支部長 久保田昌男
〃 森田富士男
〃 森西進
〃 岸本千代隆
会計 小川秀一
監事 大植義夫
吉岡俊一

(金岡記)

鳥取県支部発足す

昨年の支部長会にオブザーバとして、臨席してもらい山陰にぜひとも支部をと準備を進めておりました鳥取県支部が、昭和61年9月14日(日)に発足いたしました。

当日は連休の一日であり、また、会場が鳥取県中部の倉吉市ということで出席数を心配いたしましたが、地元会員十三名が集っていただきました。

会場は倉吉市上井(倉吉駅前)富士レストランで午後二時より結成総会が行なわれ、発起人代表吉本氏の挨拶より始まり、次に来賓挨拶を学園本部より古谷常務理事から学園の近況を報告され、校友会里会長より、校友会の役割および支部の重要さを報告されました。また、校友会真田副会長および大久保常任幹事が出席いたしました。

次に議長に下山氏が選出され、支部設立が了承され、議事に入りました。そして会則制定と役員が選出されました。その他では今後の活動要望ということで第一回は倉吉市(中部)で開催されましたが次回より、会場を移動するということで決まりました。

総会に引き続き、和室に会場をかえ、懇親会が催され、学生時代の思い出や、お互いの仕事内容を紹介し時間のたつのも忘れ、五時過ぎに、懐かしい校歌と万歳三唱で散会いたしました。

(大久保記)

役員名簿

支部長 吉本 定美 33年交短
副支部長 下山 博司(東部) 47年経営
〃 神田富美男(中部) 49年経営
〃 後藤 和昌(西部) 53年短大
幹事 木下 茂 45年土木
〃 白岩 義広 47年経営
〃 田中 瀧 52年交機
会計 古田 政英 52年土木
会計監事 神田富美男 49年経営

大学開学20周年式典挙行さる！

大学開学以来、早や20年が経過し逐次発展してきましたが、この20周年を迎えるに当り記念事業の主たる事業として、経済学部の新設と本館建築等があげられます。これらについては、計画通り逐行され、経済学部については今年4月に開設、そして本館は去る9月3日に竣工されると共に、このたび大学開学20周年式典等記念行事を挙行する運びとなりました。

行事日程は、三日間にわたり記念式典、祝賀会はもちろんのこと、学生主催のコンサートや関西フィルハーモニー演奏会等が行なわれました。中でも、当大東市の地に開学して以来、近隣の方々には数多くのご協力、ご支援を賜わった事は言うまでもありません。そこで地元の皆様方に感謝の意を表すものとして「地元の皆様への感謝の夕べ」と題し、歌謡ショー、笑タイムが行なわれました。

式典等行事日程・内容

9月25日(木)
記念式典　(本館多目的ホール)
祝賀会　(総合体育館)

9月26日(金)
特別記念講演　(本館多目的ホール)
福田信之氏(筑波大学前学長)
学生主催によるコンサート
吹奏楽部
関西フィルハーモニーコンサート

9月27日(土)
地元に対する感謝の夕べ(総合体育館)
●歌謡ショー
早瀬一郎・杉谷容子
●笑タイム
大助・花子
オール阪神・巨人
●歌謡ショー
芹　洋子
オンステージ

「学園創立60周年並びに大学開学20周年記念募金について」

本学園は昭和3年の創立以来、昭和63年をもって創立60周年を迎え、大学は開学20周年を迎えました。

この記念すべき年に、新なる躍進の転機として、教育環境の充実を図るべく記念事業が計画されました。

校友会を通してこの記念募金にご協力いただいた卒業生には、校友会特製のバックル又はベルトを贈呈いたしております。61年3月13日より6月30日迄にご寄付いただいた方は次の通りです。(敬称略、順不同)

学外
奥田　淳一　(産大15期卒)
川本　一雄　(交短1期卒)
中井　人見　(産大8期卒)
酒本　隆　(産大19期卒)
里　昇　(交短2期卒)
梅木　俊郎　(産短2期卒)
井戸　通夫　(交短5期卒)
芦田　正之　(交短15期卒)
光岡　明弘　(交短15期卒)
園田　明則　(産大18期卒)
山中　栄一　(産大16期卒)
竹林　富夫　(交短1期卒)
大山口　司　(産大4期卒)
大上　謙友　(産大15期卒)
岡　護　(産大11期卒)
岸本　隆男　(産大1期卒)
飯塚　秀治　(産大18期卒)
井上　吉昭　(産大9期卒)
浜田　耕治　(産短4期卒)
才原　篤　(産短9期卒)
茨木　稔　(交短215期卒)
竹田　省蔵　(産大1期卒)
西　博行　(産大8期卒)
皿屋　匡宏　(産大7期卒)
菱田　英男　(交短115期卒)
大前　達彦　(産大9期卒)
樋口　吉美　(産大18期卒)

学内

キャンパス新発見

本館竣工間近、ふと私の目に入ったキャンパスガイドなる表示板、どこかの公園等で見かけた事はあるが本学では初めてのお目見えである。

新鮮さを覚えると共に、西部キャンパスの整備がほぼ完了した事を感じさせる。

記念名簿頒布中！

――学園創立60周年 大学開学20周年記念版

今年、大学は開学20周年を迎え、この記念すべき年に、校友会では〝校友会記念名簿〟を発行いたしました。二万五千人程の校友を全部掲載しております。仕事や校友相互の親睦に大いにご利用下さい。

- 発刊日　昭和61年4月
- 規　格　B5判、表紙クロス貼り、約一、〇〇〇頁
- 掲　載　卒年順、50音別氏名索引、会社名別索引、地域別索引
- 価　格　九、〇〇〇円(送料含む)
- 申　込　現金書留　大阪産業大学校友会宛

懸賞ハガキ

大学開学の20周年を記念し、懸賞募集することになりました。遠方より大学へ来るのは、費用もかさみますし、時間もかかりますので、せめて経費の負担を補充するような企画を考えました。どうかふるって期限内に応募ください。

校友会懸賞ハガキ

問題　この懸賞に昭和61年10月22日(水)までに何通の応募があるでしょうか？

答 [　　] 通

ヒント　会報発送は約23,000通あり、総会の出席者は去年約 400名ありました。

賞金　2名分の旅費を進呈する。
(必ず正会員と2名で総会に出席のこと1名は不可)

人数　25名（同伴者を含め50名）

※● 2名の旅費が5,000円未満の方は現金5,000円を進呈する。
● 当選者は正解に近い方より25名を選ぶものとします。

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿　電話　　-　　-

住所＿＿＿＿＿＿＿＿
正確に書いてください。

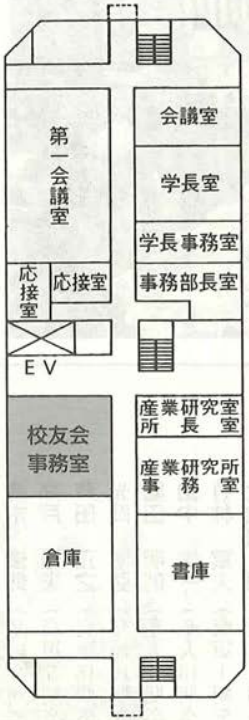
昭和61年度
校友会総会パーティ
日時　昭和61年11月2日(日)
12時30分～
場所　大阪産業大学
西部キャンパス

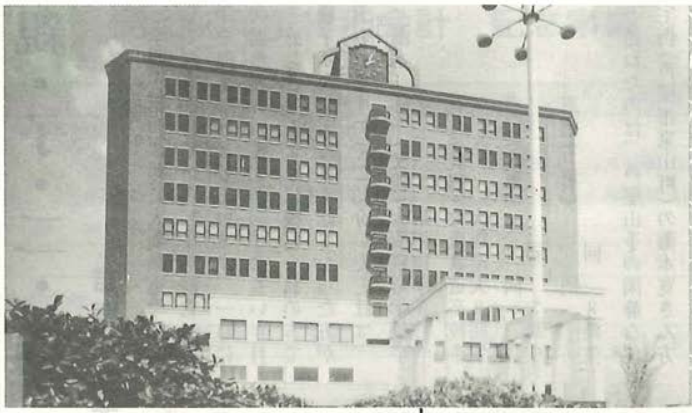
校友会事務室 本館へ移転

建設中であった11号館（本館）は、廻りに類を見ないほど立派な大きな建物で去る9月3日に竣工し、法人事務局・大学全体の事務部門そして経済学部関係の研究室・教室等が移転するとともに、当校友会事務室も6号館から本館8階に移転しました。

これを機会に、さらに校友会活動の発展が望まれるところです。

8階





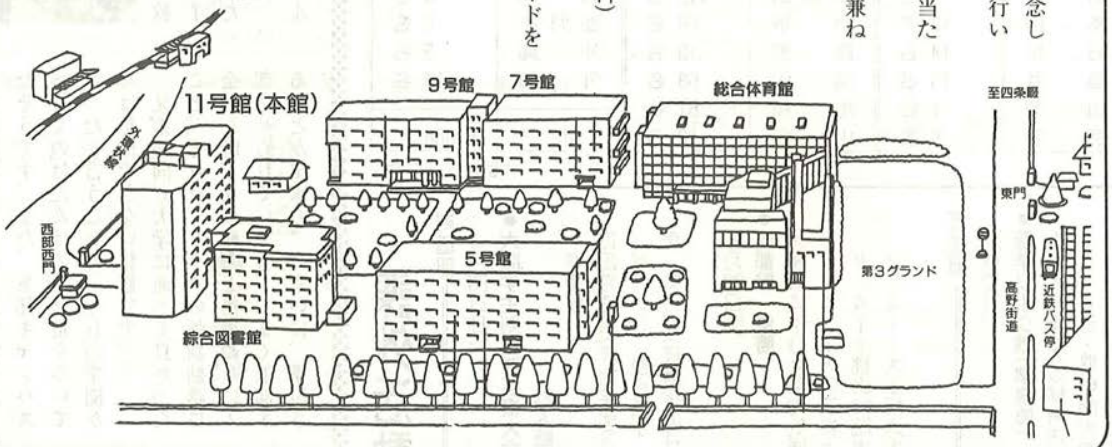
昭和61年度 校友会総会 パーティのご案内

〈大学祭期間中〉

今年は、大学開学20周年を記念して、大学本館西部キャンパスで行います。
今年の福引にはどんな景品が当たるか楽しみ！
家族そろって、阪駒祭見学を兼ねて参加を！

日時　昭和61年11月2日(日)
　　12時30分より
場所　11号館(本館)
会費　4,000円
　　(会員のみご家族無料)

参加記念としてテレホンカードをプレゼント。



ひとことだより

●岸本隆男さん（産大１期生）

卒業してから最早、17年間を経てしまいましたが、会報をいただく毎に懐かしく思つております。当地方にも多数の卒業生が居りながら交流もほとんどありませんので、会報で各支部の設立を見て、支部設立の夢があります。もうしばらく時間を頂いてから相談させて頂きますので、又よろしくお願いします。今のところは兵庫県北部地区として「但馬支部」を考えていますので、本部へ校友会員からの声が入っておりましたら、ご連絡を頂きますようお願いします。

チャイム

大学とは「小、中、の義務教育、そして高校と成長してきた者がわざわざ高額の学費を支払って駄目な人間に改造されていく機関。」と言う記事を目にした。

また、ある調査機関が首都圏の私学を対照に調査した結果、大学生は四年ともなるとそのまま大学生でいたいと七割近くも思っている。モラトリアム人間（いつまでも親から小遣いを貰い続けて優雅に暮らす人間(?)）とでも言うべき集団である。

大学生→駄目な人間に→モラトリアム人間。この構図の背景は一体なんだろう。大学生の親は、現代のように何事にも厳しい社会情勢の中、会社に就職したならばそれなりのポストを獲得して欲しいと願い息子を大学に進学させる。子供は反対に檻に入れられるのをいやがる。大学の入学とは、勉強したいと思う人間がその情熱を使い果たすことにより許される。そのとき、なんのために入学したのかわからなくなる。同調査機関はその結果、学生生活が遊び中心になりモラトリアム人間の集団を生むのだろうと分析する。さて、あなたは？

親・子・二・代・本・学・園・に

芦屋　灘本さん一家を訪ねて——

学園が昭和3年に大阪鉄道学校として創立されてから、今年創立60周年を迎えようとしています。一口に60周年と言いますが、この長い年月を感じさせるように校友会員の方で、親子4人学園に御世話になった方がおられますのでご紹介いたします。

灘本　弥一（父親）大阪鉄道学校卒　昭和12年3月
　　寛　（長男）大阪鉄道高校卒　大阪産大3期生
　　孝司（次男）　同　同　7期生
　　憲治（三男）　同　同　8期生

訪ねたのは、芦屋山手の閑静な住宅街（芦屋市東山町）の灘本寛さん方である。父親の弥一さんは、定年の翌年（昭和53年・58歳）という若さで亡くなられたと言うことでした。弥一さんは、大阪鉄道学校を卒業し国鉄に入社、定年を迎えたときは特急列車の車掌長だったそうです。

長男の寛さんは、自宅近くの高級食品スーパー『イカリスーパー』で調理師として勤務されています。三男の憲治さんも同じく、イカリスーパーの営業部に勤務し活躍されています。イカリスーパーは、主として舶来・国内産高級食品を取り扱っており、芦屋の高級住宅街の住民が主なるお客様で、高級外車に乗り買物に来るとのこと。聞けば聞くほどに生活様式のちがいにため息が出るばかりである。寛さんが店の商品について話してくれました。「例えば、一般の店でキャベツを買い食べるときには葉を2～3枚取らなくてはならないが、イカリスーパーのキャベツはそのまま全部食べることができる。それくらい店の商品を厳選しています。」この様なスーパーなので、店の名前は東京まで届いているそうです。

次男の孝司さんは、芦屋市役所の教育委員会社会教育課で婦人学級、手話通訳、日本舞踊など地域社会のために活動をされています。

本学園の入学動機は、父弥一さんの母校（当時鉄道高等学校）の校長瀬島源三郎先生の所へ息子（寛さん）を連れて行き進学を進めたのがきっかけで次男、三男と同学園に入学されたのです。寛さんが高校を卒業し、大阪産業大学に入学された当時、大学の西部キャンパスには5号館と7号館があり、今日のように周囲にフェンスがなく出入りはどこからでも自由であり、雨が降るとキャンパスはぬかるんで歩くことさえ間々ならなかったそうです。寛さん言わく「えらい田舎にきてしもた。」と、思ったそうです。また、東部キャンパスへ行くのはたんぼのあぜ道を歩いて行ったと言うことで、今日の学園からは想像できない状態です。

兄弟が同じ大学に通って良かったこと。「それは、クラブの強制勧誘に会った時、兄に頼むと無理やりに入部させられていても、うまく退部することが出来た。（幸いに、孝司さんも憲治さんも強制勧誘されなかった。）試験においても兄より先生の出される試験問題の出題傾向を知ることができた。都合の悪いのは、先生にすぐ名前を覚えられ、あまり授業をさぼれなかった……。」と、孝司さんと憲治さん。母親の要さんが、「息子たちは、高校から大学までの往復3時間を毎日々7年間、真面目に良く通ったものです。」と話す。

現在の学園について、「数年前より高校野球で名前が売れてきて我々卒業生としてとても嬉しい。今後、教育方面においてもなお一層努力をして学園の名声を高めてほしい。」との言葉を受け、灘本家を後にした。

……長い間お邪魔しましてすみませんでした。
今後の御発展を
お祈りしております。……

記　高見

都道府県別在学生数（大学・短大）

昭和61年4月1日現在

府県別	学生数	府県別	学生数	府県別	学生数
北海道	3名	岐阜	14名	徳島	27名
青森	2名	静岡	11名	香川	54名
岩手	2名	愛知	25名	愛媛	36名
宮城	1名	三重	51名	高知	8名
秋田	2名	滋賀	152名	福岡	17名
山形	6名	京都	450名	佐賀	1名
福島	2名	大阪	2,348名	長崎	4名
茨城	7名	兵庫	1,050名	熊本	3名
栃木	3名	奈良	414名	大分	8名
群馬	1名	和歌山	112名	宮崎	4名
埼玉	13名	鳥取	20名	鹿児島	8名
千葉	14名	島根	13名	沖縄	5名
東京	15名	岡山	68名	国外	16名
神奈川	1名	広島	81名		
新潟	6名	山口	18名	計	5,096名
富山					
石川					
福井					
山梨					
長野					

※留年生数は除く

課外活動の主な結果

剣道部

●大阪学生剣道選手権大会（個人戦）
4月20日㈰
準優勝
百田芳徳君（経営学部3回生）
ベスト16　優秀選手
東　繁行君（経済学部4回生）　主将

●淀都戦　優勝
5月30日㈮
大産大4－0大阪電気通信大学
〃　4－1大阪工業大学
〃　4－1桃山学院大学
〃　4－1大阪経済大学

野球部

●春季リーグ戦（準優勝）
4月12日㈯～
大産大（2勝）大阪経済法科大学
〃　（2勝1敗）甲南大学
〃　（2勝1敗）天理大学
〃　（2勝）桃山学院大学
〃　（1勝2敗）大阪体育大学
計9勝4敗　勝ち点4

6月6日㈮
●淀都戦（優勝）
決勝戦
大産大3－1大阪経済大学

●淀都戦（優勝）
大産大27－6大阪工業大学
〃　不戦勝桃山学院大学
〃　34－0大阪経済大学

アメリカンフットボール

5月11日㈰～
●交流試合
9月からのリーグ戦での一部昇格を目指し、交流試合を重ねていますが、特に6月1日㈰の対ブラックイーグルス戦（西日本社会人リーグ一部優勝チーム）では14対8で勝ち、大いに意気が上っています。

昭和60年度特別会計　記念事業

収入の部

科　目	予算額	決算額	摘　要
積立基金より(内記念名簿5,000,000)	25,000,000	26,645,285	
広告収入	3,900,000	2,708,300	広告掲載　89件
名簿販売	6,010,000	2,393,870	名簿販売 404冊
雑収入		32,396	
合　計	34,910,000	31,779,851	△ 3,130,149

支出の部

科　目	予算額	決算額	摘　要
記念品(ベルト・バックル)		2,098,000	
緞帳	20,000,000	13,100,000	4,396,600
岬研修センターへ		405,400	
会議費	300,000	0	300,000
通信費	2,560,000	111,815	2,448,185
印刷費	250,000	605,100	△ 355,100
消耗品費	200,000	2,438	197,562
名簿作成費	10,000,000	2,750,300	7,249,700
人件費	1,000,000	926,690	73,310
雑費	200,000	145,744	54,256
予備金	400,000	423,750	△ 23,750
小　計	34,910,000	20,569,237	14,340,763
61年度特別会計へ繰越金		11,210,614	△ 11,210,614
合　計	34,910,000	31,779,851	△ 3,130,149

校友会 新代議員

任期　昭和61年4月1日から2年間

(氏名)	(卒年度)(学科)
吉本　定美	33年交短運
唐津　登	40年交短自
青木　豊茂	41年 〃
山本　秀男	41年 〃
梅原　一男	43年機械II
渡辺　計	45年経営
吉野由喜男	45年機械
島田　成雄	48年経営
国吉　俊親	49年経営
松田　裕彰	60年経営
宇崎　敏明	60年土木
北野　義昭	60年短自

訃報

佐々木　季邦氏　教養部元教授　昭和61年1月14日

浅野　剛氏　工学部名誉教授　昭和61年8月25日

ご結婚おめでとう♡

(敬称略)

3/9	金岡　正信	土木	8期卒
3/25	西岡　理	機械	15期卒
4/11	中鳥　康治	経営	13期卒
4/19	三浦　聖一	土木	14期卒
4/20	板橋　純一	土木	10期卒
4/20	保田　秋生	交機	17期卒
6/15	平井　博美	機械	11期卒
6/21	岡田　馨	短自	14期卒
6/22	斉藤　敦	交機	16期卒
6/22	最本　雅彦	土木	16期卒

昭和60年度決算(自昭和60年4月1日 至昭和61年3月31日)

61年3月31日現在の在り高　　(単位：円)

在り高	169,670,126	一般会計	32,139,731
		積立基金	137,530,395

内　訳

積立基金

前期繰越金	155,691,189	
期中受取利息	8,484,491	
収入合計	164,175,680	
支出合計	26,645,285	特別会計へ
差引残高	137,530,395	次期繰越金

収入の部(一般会計)

科　目	予算額	決算額	摘　要
前期繰越金	3,500,000	10,096,901	
校友会費	27,000,000	29,380,000	60年度入学生、20,000円×1,469名
会費収入	831,000	932,900	総会参加費、会報購読料
預り金	13,500,000	18,680,000	60年度入学生(推薦)20,000円×934名
雑収入	1,390,000	1,402,682	寄付金、利息
合　計	46,221,000	60,492,483	

支出の部(一般会計)

科　目	予算額	決算額	摘　要
会議費	3,780,000	3,288,293	各会議費
総会費	4,700,000	5,170,640	総会パーティー、福引等
通信費	3,017,000	2,558,675	電話代、切手代等
印刷費	960,000	931,393	コピーリース代、議案書印刷
備品費	300,000	41,300	電話代、テレホンオルゴール
旅費交通費	1,470,000	2,188,735	会議出席者交通費等
慶弔費	600,000	646,070	野球部祝勝会、阪駒祭等
消耗品費	580,000	300,900	封筒他事務用品
会員名簿	1,300,000	1,268,125	卒業生名簿
機関誌	2,320,000	2,056,000	会報29号、30号
記念品費	1,275,000	1,272,600	新入生用レコード、卒業証書入れ
学生助成金	4,000,000	3,995,000	学生団体助成金
支部準備金	1,720,000	1,065,200	支部総会祝金等
調査費	600,000	220,000	宛名打出し
広報費	1,000,000	359,000	総会パーティ新聞広告
人件費	2,500,000	1,090,905	アルバイト料
雑費	850,000	570,856	ポラロイドフィルム他
予備費	1,749,000	1,329,060	ビデオ、横断幕等
小　計	32,721,000	28,352,752	
預り金	13,500,000	18,680,000	
次期繰越金		13,459,731	
合　計	46,221,000	60,492,483	

校友会 活動報告

昭和61年
2月25日(火) 常任幹事会
3月7日(土) 常任幹事会
3月8日(土) 幹事会
（ホテルエコー大阪）
①昭和61年度の総会について
②代議員の補充について
③その他
3月18日(火) 常任幹事会
3月26日(水) 学内役員会
4月4日(金) 常任幹事会
4月15日(火) 支部推進部会議
4月19日(土) 幹事会
（ホテルエコー大阪）
①総会と支部長会の関連について
②記念募金の方法について
③その他
5月16日(金) 常任幹事会
5月31日(土) 幹事会
（ホテルエコー大阪）
①校友会総会について
②その他
6月8日(日) 第3回奈良県支部総会
6月24日(火) 常任幹事会
7月2日(水) 学内役員会
7月5日(土) 幹事会
（ホテルエコー大阪）
①昭和61年度総会について
②その他
7月13日(日) 第2回新潟県支部総会
広島県支部結成準備打合せ
7月21日(月) 編集部会議
7月23日(水) 常任幹事会
8月31日(日) 第4回 大阪北河内支部総会

開学20周年記念として、当校友会から寄贈した本館多目的ホールの緞帳（左）並びに同玄関ホールにあるタペストリー（右）です。

緞帳は、本学園の限りない未来への発展を象徴する「宇宙」をメインテーマにしています。

また、タペストリーについては、「躍伸」と題しています。